

日本臨床検査専門医会 2024 年度 第 5 回理事会議事録

開催日時：2024 年 11 月 28 日（木曜日）11：50～12：50

開催場所：グランキューブ大阪+ZOOM によるハイブリッド会議

現地出席者：〆谷理事長・山田副理事長・村上(庶務担当)・増田(会計担当)・田部・

鯉渕・幸村・尾崎・松下各常任理事

浅井・山田・山崎・北中各理事

東條・菊池両監事

WEB 出席者：福地常任理事

藤井・植木・橋口各理事

事務局：大和田

Web 会議システムにより、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、的確な意見表明ができることが確認されたため、定刻、〆谷理事長は議長となり、開会を宣し、議事に入った。途中 Web 参加者の声が途切れることがあったが、即時に修正され、つつがなく議事が進行した。

< 報告事項 >

1. 各種委員会報告（前回理事会以降の報告）

1) 資格審査・規定改定委員会

田部委員長より、添付資料 1 に基づき 2 点の委員会報告があった。まず、2024 年度年会費納入を条件とし、推薦が保留となっていた有功会員を、年会費納入により推薦者に追加することを確認した。次に、例年同時期に行っている年会費未納者への再請求を、12 月に郵送することを確認し、さらに、3 年分未納者に関しては、定款 10 条 3 項に基づき「督促状」を同封し、会費納入を促すことを確認した。

2) 渉外委員会

幸村委員長より、今年度開催中の「全国検査と健康展」について報告があった。数か所を残し、ほぼ開催が終了している。派遣医師からのアンケートを資料 2 として添付した。相談者が増えていることが伝えられた。

3) 保険点数・データシステム委員会

松下委員長より添付資料 3 に基づき、令和 8 年度診療報酬改定に向けて、臨床検査医学会・臨床検査振興協議会と合同で活動を始めたことが報告された。専門医会会員を対象にアンケートも検討している。また、同委員会が企画し、明日第 71 回日本臨床検査医学会学術集会において開催される、共催シンポジウムの内容について紹介した。担当メンバーが非常に協力的であり、中味の濃いシンポジウムが期待できると謝意を表した。

4) 広報・ネットワーク運営委員会

尾崎委員長より、3 部門体制にわかれて行っている活動について報告があった。まず、イベント部門の 11 月 11 日のつなぎ委員会の活動について報告した。山口宏茂委員を中心

に、東京ソラマチで11月10日にイベントが開催された。今回から、専攻医が参加することとなり、臨床検査医学会を通じて募集を行った。参加した専攻医には専門医会より、参加証を発行した。その他、例年通りTwitterによる抽選等の広報活動もあった。レジデントノート部門は、後藤委員が引き続き担当し、「検査のTips!」は資料の通り掲載が予定されている。100回で打ち切り、その後については臨床検査医学会と検討している。ネットワークBBS部門では、引き続きホームページの改修（主に写真の差替え）を検討しており、ホームページ委託会社と打合せした。また、イベント担当山口委員より、つなぎの日イベントに関する資料の提出があり、理事会資料に添付した旨報告があった。

5) 情報・出版委員会

福地委員長より、添付資料1に基づき報告があった。JACLaPNEWSは後藤和人委員が担当し、149号を発行した。第71回学術集会大会長日野正幸先生の巻頭言などが主な記事である。学会誌LabCPは金子誠委員が担当し、42巻2号の発行準備が進んでいる。別紙に内容を示した通り、2024年度年次大会の内容を論文化したものが掲載される。論文の収集には、尾崎年次大会長に多大なる尽力をいただいたと、謝辞を述べた。続く、第43巻1号は、臨床検査医学会学術集会中の社員総会講演会や、共催シンポジウムの内容掲載を予定している。共催シンポジウムの内容を本会会誌に掲載することについて、日本臨床検査医学会広報委員会下澤編集委員長他担当者に予め相談し、問題がないことを確認したと報告した。日本臨床検査所協会協会誌ラボの担当ページについては、出居真由美委員を担当とし掲載が進んでいる。今年度の担当は資料の通りである。2025年度に関しては、理事会直前に確定したため資料の添付はないが、企画した出居委員、執筆の内諾をいただいた先生方へ感謝していると述べた。

続いて、情報・出版委員会規程の一部加筆・修正について検討した結果を、資料を示して説明した。JACLaPNEWSの原稿は入稿依頼によるものとする、LabCPにおける学会・シンポジウムの論文掲載に関する取り決め、転載についての取り決めなどを加えた。ベ谷理事長より、委員会規程の変更は理事会の審議事項となる旨説明があった。議長が議事に諮ったところ、多少の文言修正の指摘以外異議なく、修正を前提に委員会規程の変更が認められた。

2. 第4回年次大会の準備状況について

幸村大会長より、添付資料6に基づき報告があった。開催概要やプログラムを示したあと、収支予算案について説明した。共通講習や、領域講習の単位認定も予定している。支出に関して、ホームページ作成費、リーフレット作成費など、安価な会社を探し、経費節約を図っている。イベントなどが重なるとホテルがとりにくくなるため、早めの予約をお願いしたいと話した。

＜審議事項＞

第一号議案 教育セミナー配信期間について

鯉渕教育研修委員会委員長より、資料に基づき、受講者の希望を受け検討し、例年2週間程度としてきた教育セミナーのオンデマンド配信期間を、次年度は30日に変更をすることが提案された。理事会承認を得るにあたり、配信業者に、追加料金がないこと、予定の近い年次大会オンデマンド配信と、配信日程が重なっても問題無いことを確認したと説明があった。本提案につき、議長が議場に諮ったところ満場異議なく承認された。

第二号議案 2024年度第6回理事会開催日について

議長は、次回第6回理事会開催日について、3月15日（土）15：00～17：00を提案した。議長が日程について提案したところ、満場異議なく承認された。

第三号議案 その他 「全国検査と健康展」交通費について

議長はその他審議事項として、「全国検査と健康展」交通費について、臨床検査振興協議会から提案があったことを報告した。これまで、派遣医師から請求を受けた交通費を本会事務局が取り纏め、臨床検査振興協議会事務局に伝え、同事務局が支払いをしてきた。二重に手間がかかること、遠方の派遣医師の参加により予算を超えた交通費の請求があったことなどが問題とされていた。今後は、臨床検査振興協議会が一定の予算をたて、本会事務局へ予め送金し、本事務局から派遣医師へ支払いをする。余剰金が発生した場合は臨床検査振興協議会に返金し、万が一不足金が出た場合は相談する。今年度より、専攻医の地方活動の単位取得を援助するため、まず地域専攻医から派遣医師を募集することを臨床検査医学会の松下理事と確認した。そのため、高額な交通費は避けられると考える。臨床検査振興協議会の提案を受け入れることに関し、審議して欲しいと発言があった。日本臨床検査振興協議会理事長である、村上常任理事より、予算金額はこれから検討すると補足があった。この提案について、議長が議場に諮ったところ満場異議なく承認された。

これに関連し、田部理事より、同じく、臨床検査振興協議会と共催している「こども霞が関見学デー」の交通費の支払いに関して、質問があった。現状交通費は支給されていない。議場より、2つの行事の違いとして、「こども霞が関見学デー」はボランティアの要素が強く、「全国検査と健康展」は各地で医療相談を受けていることが説明された。よって「こども霞が関見学デー」に支払いの必要があれば、本会が負担すべきではないかと意見があがった。専攻医を中心に募集をかけるが、専攻医には交通費を支給しないことが確認された。専門医の参加については交通費の支給を検討する。また、交通費以外の問題で、「全国検査と健康展」「こども霞が関見学デー」の専攻医派遣に際し、臨床検査医学会から募集をかけることについて疑問があがった。専攻医の地域単位取得を援助するという目的は理解するが、本会非会員の専攻医に関する事務手続きを、本会で行うことは負担である。引き続き、本会所属専攻医を優先しながら、臨床検査医学会と話し合いをしていくことが確認された。

以上をもって議事・報告の全てを終了したため、議長は閉会を宣した。

以上、議事・報告事項について本議事録を作成し、出席理事長及び出席監事は次に記名押印する。

2025 年 4 月 26 日

理事長 谷 直人 印

2025 年 4 月 23 日

監事 菊池 春人 印

2025 年 4 月 23 日

監事 東條 尚子 印